

(書式 12) 報告会・広聴会・意見交換会実施報告書

議 長



令和 6 年 2 月 2 1 日

(会 派 名) 政志会
(会派代表者) 村井 孝彦 殿

(会 派 名) 政志会
(議 員 名) 若谷 修治

報告会・広聴会・意見交換会実施報告書

下記のとおり実施したので報告します。

開 催 日 時	令和 6 年 2 月 4 日 (日曜日) 1 3 時 0 0 分 ～ 1 4 時 4 0 分
開 催 場 所	坂出市民ふれあい会館 多目的ホール
参加議員名 および参加者	村井 孝彦、若谷 修治、鳥飼 由衣 市民参加者 4 2 名
報告会・広聴 会・意見交換会 の概要	別紙のとおり

※ 参考となる書類があれば、添付して下さい。

第1テーマ『坂出市の未来像について』

【市民】

人口減少が一番の懸念である。子育て世代を中心にした施策を徹底的にやってほしい。若い世代が喜ぶまちづくりを望む。

【村井議員】

坂出市は、他市に比べて人口減少率は高い。人口減少に歯止めをかける施策を講じていくことは非常に大事である。また、大学等進学を機会に県外に出られる方に坂出に戻って来てもらえるような施設の配置も進めなければならない。

【市民】

防災先進都市として、日本で一番有名なまちを目指してはどうか。

【村井議員】

南海トラフ大地震の際に坂出港に自衛隊が入港できたら、坂出を拠点に災害対応が可能になる。坂出北ICも生かして災害支援の拠点を目指すべきと考える。

【若谷議員】

市民の防災意識の醸成も課題である。皆さんの協力をいただきながらソフト面での取組も進めたい。

【市民】

能登半島地震で多くの家屋が倒壊した。今住んでいる家屋に対する耐震の助成金はあるのか。

【村井議員】

2018年データで坂出市の耐震化率は81%。耐震診断や補強設計、耐震改修工事を実施する際の補助事業がある。

【若谷議員】

耐震化も大事だが、家具類の転倒・落下・移動防止対策も行してほしい。

【市民】

坂出駅前の拠点施設に図書館と子育て支援施設、公民館が入る施設は賛成であるが、駅周辺から市民ホール、緩衝緑地帯から西運河と回遊性をもたせることが大事ではないか。

【村井議員】

坂出駅前の施設は公民連携事業で民間の知恵を出し合って素晴らしい施設ができることを期待している。

【市民】

旧坂出市立病院の跡地は今後どのように活用されるのか。

【村井議員】

確定情報ではないが、おそらく市当局は公園化を考えていると思う。

第2テーマ 『子育て環境の充実について』

【市民】

不登校や引きこもりが大変な問題になっている。坂出市の規模であれば小学校を2校ないし3校にし、どこへでも行きたい学校に通うような方針にできないのか。

【若谷議員】

どこへでも行きたい学校に通う方針は難しい。住民基本台帳の住所により、就学すべき学校を指定することにより、安定的にクラス編成が行える。また、地域の子供は地域で育てる、地域で守るなどの視点から指定校の利点もある。

【鳥飼議員】

子供の数に応じて学校数も必要。学校を建てる場所もとても重要であり、その周辺に住宅が建ち活性化に繋がり、人口増に繋がっていくと考えていることから、場所の選定はしっかり協議していく必要性はある。

【市民】

引きこもりだとか、いじめ問題は大きな問題である。小中一貫校を導入することによって9年間も同じ環境が続くより、環境の変化が行えるようにどこでも行ける学校があればいい。学校が複数あれば選ぶことができ、どこでも行けるという制度や仕組みなどの対策を望む。

【村井議員】

校舎を工夫するなど検討が必要。フリースクールなどいろいろな意見が出ていることから検討させていただく。

【市民】

南部保育所は相当古い。地震の際、2階から子供たちが避難するときに危険。また、保育所の周辺の道路も狭いので心配。地震のときに逃げる通路が狭い保育園をどうするのか。今後の南部保育所は認定こども園になっていくのか。

【若谷議員】

市中心部の具体的な計画はまだありません。南部保育所を含め、市中心部の就学前施設については、推測になるが来年度から保護者の意向を聞きながら、また、民間施設とも意見交換を行いながら進むと思う。

第3テーマ『その他について』

【市民】

公民連携について。例えば市立病院の跡地を使うにしても、市が全くテコ入れせずに、民間で建ててください、運営もお願いしますよと言って、誰が引き受けるのか。市も痛みを伴うような、ある程度予算付けをした上で、公民連携をやるべきだ。

【村井議員】

民間は赤字では入ってくれない。黒字の商売しか民間は来ない。

山形のインクルーシブプレイスコパルという、無料で大人も子供も自由に使える大きい体育館みたいな施設を視察した。民の知恵と民の予算的な支援、公の負担がうまく連携した公民連携の成功例であった。

【市民】

観光も必要だと思う。核になる施設、民間も含めてであるが、今後長期的に考えていく必要があると思う。瀬戸大橋の橋脚になっている島嶼部には資源もあり、その辺りをうまく活用してツアー的なものは組めないかと思う。インバウンドも含めて、もう少し観光の方に力を入れた方がいいと思う。坂出市の認知度をどうやって上げるか、魅力のある町にどうしたらいいのかっていうのを考えていく必要もあるのではないかな。

【村井議員】

4月に観光協会は法人化した。その法人化の目的は、観光事業の強化である。一番美しい夕日は、瀬戸大橋の向こうに沈む夕日だと思っている。売りに出せるものはいっぱい持っていることから、観光資源を生かして、県と周辺市町が一緒になり、瀬戸大橋を中心にした政策をしっかりとやらなければならない。

【若谷議員】

瀬戸大橋を中心に、島を活用したいと思う。令和6年は国立公園指定90周年の記念の年になる。また瀬戸芸も2025年にあることから、いろいろ絡めながら観光行政を進めていきたいと思う。

【市民】

坂出火葬場について。早く何とかしてほしい。

今の状況、市の考えを教えてください。

【村井議員】

今月、市有地の中を模索し、候補地を1ヶ所に決定すると聞いている。議会に報告後、地元説明をしっかりとやって、地元の理解をいただいた形で事業推進を図ることになる。また、建設には数年かかる。

【若谷議員】

現在議員定数は19名である。定数と報酬について、ご意見をいただきたい。坂出の抱える課題はたくさんあることから、議員が減ることが果たして良いのか悪いのかという部分はあるが、若い方が立候補しやすくなる

ように、議員を減らす分は、報酬面や処遇面を改善し、子育てしながらでも議員活動ができる仕組みという考えもある。

【市民】

議会費の総体的予算は変えず、議員報酬については、年金をもらうような世代、65歳以上が議員になる場合は、日当制にし、65歳以下の方が当選した場合は、議員報酬を加算するような制度が良いと思う。今から若い人向けのまちを作っていくのであれば、若い人の意見を取り入れ、意見がきちんと市政の場に反映することが理想だと思う。